

避難について (地域での協力や助け合いなど)

災害による被害を最小限に抑えるには、まず、自分と家族が無事であることが大切となります。それから、地域住民が協力して、^{ふしやうしや}負傷者等の救出救護などを行うことが重要です。

災害時には、安否確認、救出救護、炊き出しなどを地域と協力して行います。そのために、防災訓練などへ積極的に参加し、日ごろから防災知識の普及、地域の安全確認、防災資機材の備蓄、災害などに備えましょう。

要配慮者への手助け

■高齢者・乳幼児・傷病者・外国人には・・・

高齢者や乳幼児は、手をつなぐ、背負うなどしてしっかり援護します。

傷病者には複数の人で対応しましょう。

外国人の方で言葉が通じない場合には、声をかけて身振り手振りを交えて誘導^{ゆうどう}します。



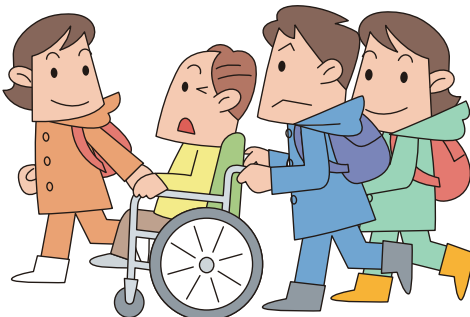
■目の不自由な人には・・・

「お手伝いしましょうか」などと、まず声をかけましょう。話しかける相手の声が頼りなので、話すときは、はっきり・ゆっくり、大きな声で、誘導^{ゆうどう}するときは、杖を持っていない方のひじのあたりを軽く触れるか、腕をかしてゆっくり歩きましょう。



■からだの不自由な人には・・・

それぞれの人に適した誘導^{ゆうどう}方法を確認しましょう。車椅子の場合は、必ず3人以上で協力し、階段を上るときには前向きに、下りる時は後ろ向きにして、恐怖感を与えないように配慮しましょう。



■耳の不自由な人には・・・

話すときは、近くまで寄って相手にまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしましょう。口頭でわからないようであれば、紙とペンで筆談しましょう。紙やペンがなければ、相手の手の平に字を書いて筆談しましょう。



防災訓練への参加

^{しんすい}浸水ひなん地図を知識として知るだけでなく、防災訓練等とあわせて活用し、より理解を深めることにより、実際の災害発生時に落ち着いて適切な行動をとることができます。

静岡市では、12月第1日曜日を「地域防災の日」と定め、地域の防災力の向上を目的に、各自主防災組織を中心に防災訓練が行われています。お住まいの自主防災組織の訓練予定を確認し、家族で防災訓練に参加しましょう。



防災訓練に関するお問い合わせ
静岡市 総務局 危機管理総室 (054-221-1241)



写真提供：折戸五区自治会